

明德公園自然観察会

○日にち 2011.7. 2(土) ○天気 晴れ

○参加者 一般参加者:大人8名(男性4名、女性4名)、子供2名 ※内初参加5名

指導員:2名(男性1名、女性1名)辻 愛子、森 功一

★植物 ハンゲショウ(白くなる)、キシノウブ(外来種)

★昆虫 フェモラータオオモモフトハムシ(異常発生している三重県の個体を森さんに見せてもらう)、マイマイガ♀の蛹、イチモンジカメノコハムシ、オオシオカラトンボ、オオヒラタシテムシの幼虫(肉食)、キマダラセセリ

★その他 テングタケ、おたまじゃくしはもういませんでした。

解決法もわからず、いのちを脅かす原発の放射能問題を抱える今の日本の中で、目の前にある森のいのちとたくさん触れ合うことで、周りのいのちと共にある喜びを感じる世界広がることを願いながら開催。今回のテーマは「パステルで描こう」。知的障害があるチャーミングなお友達、源ちゃんも参加。彼はかなりのおしゃべりで、突拍子もないところに話題が吹っ飛んだりして、大体が思うように前に進めないが、その代わりに今回も源ちゃんのお陰で始めて観る巨大蛹を発見！後に、由紀子さんがお家で羽化させてくれ、マイマイガの♀と判明。今回のスケッチ、ちびっこ、源ちゃんのストレートな素直さに魅せられる。リアリティ、今、ここで何を感じるかを大切にしたいと思う。この場に来てくれる皆さんのお陰でふくらみがある観察会に感謝。。この場をいのち大切にするコミュニティとしていきたい。次回のテーマは「森で絵手紙を描こう」。暑中見舞いの季節、いのちと向き合うリアルな表現でそれぞれの大切な人に手紙が届いていたら嬉しい。(aiko)

◇参加者の声

- ・ 生き物がたくさん。虫や鳥みんな生きている。みんな一生懸命観てるのがおもしろい。
- ・ 50年ぶりぐらいに絵を描いた。強く書くように言われ、いつも弱いのかもとそのことが印象的だった。
- ・ 巨大蛹はじめてみるもの。パステル画、普段経験できないものを経験した。
- ・ 絵を描くことをあまりしない子どもが自分からスケッチブックを取り出して描き始めたのには驚いた。皆と自然観察することで、普段観れない生き物が観れた。
- ・ 率直な感激を今後も大切にしたい。

